

進路だより

2020年8月 7日 No.40

〰暑い、〰熱い、夏休みが始まります！

例年よりもかなり短い夏休みではありますが、いよいよ、16日間の夏休みの始まりです。「夏休みを制する者は、受験を制する」「受験の山場は夏休み」などと言われます。焦りすぎる必要はありませんが、きちんと目標を立てて、過ごしましょう。

①クラブを悔いのないようにやりきる。

今年は、クラブ活動も異例の状況でしたが、いよいよ中学校生活最後のクラブ活動の時期です。クラブに一生懸命取り組む中で身についた、支え合う友達との絆、しんどいときに頑張る粘り強さ、体力などは、長い受験勉強の中で大いに力となるはずです。

②苦手教科の克服を。

例年より短いとはいえ、夏休み中は、日頃の授業を離れてまとまった時間とることができる時期です。苦手教科にじっくり取り組み、克服に向けて一歩を踏み出しましょう。何から手をつけていいかわからないという人は、定期テストの1年生からの分を見直したり、1・2年の復習が出来る問題集を使って、自分の理解できていない分野や苦手な範囲を見つけるところから始めましょう。毎日一定の時間、学習する習慣を身につけましょう。自分にあった「勉強法」を見つけてみてください。もちろん宿題も、有効に活用しましょう。

③高校の情報・進路情報を収集しよう。

進路選択をしていく上で、とても重要なのが「情報」です。残念ながら今年の夏休み期間中は、例年のような進学についてのイベントは実施されませんが、インターネットを通じて高校のことを調べたりや、実際に高校の場所を確認したりなど、できることをやっていく中で自分の進路のイメージを明確にしていきましょう。

◆「自己申告書」を書いてみよう。

夏休みの宿題として、「自己申告書」の下書きを出しています。

今年度の自己申告書のテーマは、まだ発表されていませんが、大きな変更はないようなので、昨年度のテーマで書いてみてください。その際にまず、3年間の中学校生活（9年間の小中時代）の中で、自分が成長してきたことや学んだことは何かを、自分自身をしっかりと見つめ直すことで明らかにしていきたいと思います。そしてその成長や学びがどのような経験の中から培われてきたかを振り返ってみましょう。

- 1, 「経験」の部分を書きましょう。その際に大切なことは、なるべく具体的な内容・エピソードを書くようにすることです。
- 2, 「成長」「学び」の部分を書きましょう。
(1と2はどちらを先に書いてもいいです。)
- 3, それらの経験を、高校でどのように生かしていきたいかを書きましょう。

お知らせ

私立高校のオープンスクール・説明会の一覧を、「進路だよりNo.27」で掲載しましたが、その際にも「今年は、コロナ禍の影響もあり、参加人数制限のために事前申し込みを行っている高校が多く、先着順の高校も多い」とお知らせしました。

いくつかの高校のHPを覗いてみると、定員いっぱいとなり、締め切られている催しも見られます。関心のある高校については、早め早めの申し込みを心掛けてください。二学期以降、公立高校についても同様の傾向が予想されるので、早め早めの行動をしてください。